



HAMADA J.A.S
SHIMANE

浜田陸上教室ニュース

令和4年9月11日

ダイヤモンドリーグファイナル大会(スイス・チリッヒ)

三浦龍司 4位 3000m 障害 4位



2022年陸上のチャンピオンを決める大会(ダイヤモンドリーグファイナル)に三浦選手が中長距離種目では日本人では初めて参加しました。(9月9日)

3000m 障害には10名がエントリーされ、2名がペースメーカーだったので8名で争い、東京五輪、オレゴン世界選手権の優勝者ソフィアン・エル・バッカリ(モロッコ)も参加しました。

ペースメーカーが1000mを2分40秒で引っ張る中で三浦選手は中盤について走り、最後の1週を通過する時は7番手でしたが、ギアを切り替えて得意の追い上げで4位まで順位を上げてゴール。『足

が残っていた走り』記録は8分12秒65のシーズンベストが出ました。

ゴールした後のインタビューで「大舞台でしっかり順位を残せたのがうれしい」「世界選手権予選敗退だったが、同じこと(基本)を継続して質を上げて準備した」「大観衆の前で走れて選手としてありがたい」「貴重な体験をさせてもらった」等を話していた。

8分12秒65の記録は来年の世界選手権(ブタペスト)の参加標準記録(8分15秒00)も突破して出場権を獲得しました。これからトラックからロードに移行して行くと思いますがじっくり準備をしてほしいと思います。

※ダイヤモンドリーグファイナル

- ・2010年に新設される。国際陸連主催で5月～9月で14戦実施 最高峰のリーグ戦。
- ・成績がポイント制で上位の選手がファイナル大会に出場できる。

全日本インカレ欠場

ファイナル大会9月9日(金)の数日前から頭痛があり苦しいコンディションの中でも4位と健闘しました。9月11日(日)に行われた全日本インカレの5000mにエントリーをしていましたが、体調が回復しないので棄権をしました。約3週間(8月22日～9月10日)の外国での生活は大変だったと思いますが良い経験だったと思います。